

患者氏名：

年齢： 才

身長： cm

体重： kg

主訴：

患者が医療機関を受診する主な理由となる、最も気になる症状や困りごと。  
患者の訴えの中でも、特に重要なもの。  
例：腹痛、発熱、頭痛など、患者が医師に最初に伝える症状。

愁訴：

患者が感じる様々な不調や不快感の総称。  
原因が特定できない漠然とした体調不良（不定愁訴）も含まれる。  
例：「頭が重い」「体がだるい」「よく眠れない」など。

四診A：

●望診

①顔色

眉間を五色（青赤黄白黒）で判定。

②尺部

前腕内側。全身中、最も自然な色を保ち続ける部位。五色で判定。

●聞診

①五音

【角（舌）タ行】 【徵（歯）サ行】 【宮（喉）ア行】 【商（顎）カ行】 【羽（唇）マ行】

②五声

【呼（叫ぶ）】 【言（呟く）】 【歌（リズムカル）】 【哭（泣く）】 【呻（うめく）】

四診B：

●問診

- ①病歴 過去の病歴から現病歴まで含まれる。
- ②境遇 社会の中で患者を取り巻く一切の関係。めぐりあわせ。身の上。
- ③五味 【酸】      【苦】      【甘】      【辛】      【鹹】
- ④食欲
- ⑤二便 大小便（排尿と排便）のこと。
- ⑥睡眠
- ⑦月信 月経の事。
- ⑧体温

●切診

- ①腹診
- ②切経 前腕内・外側と下腿内・外側を診る。
- ③脉状診 【浮 沈】                      【遲 平 数】                      【虚 実】
- ④比較脉診

※最後に適応側を耳前動脈・臍の傍左右・中脉（胃気の脉）で決定する。